



在校児童によりお別れの言葉が贈られた。「若竹小ありがとう。いつまでも忘れません」

3 18

若竹小学校 閉校式

四十七年間の歴史に終止符



若竹小で最後の卒業生となった阿部雄真くん(左)と加藤怜奈さん(右)



式典参列者全員で国歌斉唱



町長に校旗を返還する小栗翔太くん



若竹小の顔である思い出の看板



櫛引校長から最後の卒業証書が手渡される

いつまでも忘れません」

若竹小学校閉校



記念式典には地域や学校関係者など約200名を集め、若竹小との最後の別れを告げた



実行委員会を代表して柵木真喜夫委員長挨拶

若竹小学校閉校式

昭和三十四年の開校以来一四四名の卒業生を送り出した中標津町立若竹小学校は、四十七年間の長い歴史にピリオドを打ち、平成十八年三月十八日を以って閉校となった。

この日は、若竹小学校で最後となる第四十七回卒業式、閉校記念式典、惜若礼（おわかれ）の会が挙行され、在校児童、同窓生、地域関係者約二百名が集い、多くの思い出が刻まれた若竹小学校との別れを告げた。

閉校記念式典では、出席者全員による国歌、校歌斉唱により開会され、中標津町教育委員会近野委員長より「時代を担う子供たちのために本日をもって閉校します」との告示を受けた。

学校長挨拶では、「少ない児童数にも関わらず、地域の熱意を感じる学校でした。このたびの閉校は、子供たちに、より良い環境を考えての決断です」と話され、若竹小閉校実行委員会を代表して柵木真喜夫委員長から



若竹小閉校を告げる近野教育委員長



実行委員長より長谷川正美さんへ感謝状の贈呈



記念式典にて挨拶する西澤町長

「若竹小学校ありがとう。 47年間の歴史に終止符



卒業生との悲しい別れを告げる櫛引校長
(卒業式)



PTAを代表して小栗和夫会長挨拶 (卒業式)



「ありがとう」のアーチが飾られた
卒業式・式典会場



父兄や学校関係者に見守られ、若竹小から旅立つ二人の卒業生

は「地域の独自性を生み出したのは小学校でした。子供たちや父兄も若竹小学校で多くのことを学んだ」と話され、地域とのつながりや思い出を胸に閉校を惜しむ気持ちが伝えられる挨拶となった。

また、小学校に多大な貢献をされた長谷川正美さんに感謝状が贈られ、長谷川さんも「これから子供たちの元気な声が聞こえないと思うと、とても寂しい」との胸中が語られた。

その後、在校生を代表して小栗翔太くん(五年生)から校旗の返還が行われ、地域とともに歩んだ四十七年間の歴史や思い出が染み込む若竹小学校の校旗が西澤町長へ手渡された。

最後は、若竹小学校全児童からお別れの言葉が贈られ「楽しかった運動会、学芸会など。お父さんやお母さん、そして地域のみんなどいい思い出ができました。思い出いっぱい若竹小学校ありがとう。ぼくたち、わたしたちは、いつまでも忘れません」との言葉で閉校記念式典が閉会された。



在校児童に若竹小での思い出を語る卒業生



在校児童より記念の花束が贈られて



卒業式での最後となる校歌斉唱

新入学1年生

おめでとう

大きくなったら何になりたいですか？



「計根別」

小林 雄輝
(計根別：小林雄一)



計根別
小学校



「スノーモービル」

漆原 陸
(計根別：漆原俊之)



「サッカー選手」

蛸崎 龍也
(職員：蛸崎康夫)



「警察(おまわりさん)」

深見 悠太
(職員：深見 亮)

()内は保護者及び同居組合員氏名



「ケーキ屋さん」

小林 千夏
(養老牛：小林和之)



「おもちゃ屋さん」

株田 玲音
(養老牛：株田 宏)



「服屋さん」

井野 忍
(養老牛：井野世逸)



養老牛
小学校



「牛のお仕事」

本田 瑛暉
(本 別：本田英雄)



「ケーキ屋さん」

中村 璃菜
(本 別：中村勝彦)



「パン屋さん」

斉藤 祐太
(大 成：斉藤貞一)



上西春別
小学校

50周年を迎え、消費拡大運動など組織的な活動を期待して

～ J A 計根別女性部第50回通常総会 ～



女性部では、記念すべき第五十回となる通常総会を三月二十二日農協第二、三会議室にて盛大に開いた。

総会には、部員五十三名が出席。西丸部長から「昨年は色々ありました。が、部員皆様のご協力により無事一年を過ごせました」との挨拶により開会された。来賓を代表して頼瀬組合長は「とても厳しい酪農情勢ですが、計根別は皆様の手腕にかかっています。また、五十周年を迎え、が築いた堅実な酪農経営の主力になって欲しい」と今後の女性部に大きな期待が寄せられた。その後、普及セ

ンター広瀬所長、地区女性協水沼会長、青年部穴戸部長からそれぞれ挨拶を頂いた。

議事に移ると、女性部長からの推薦により末広香さん（大成）が議長を務め、事業報告や計画などスムーズな議事進行がなされた。

また、平成十八年度の事業計画では、三層活動の充実、仲間づくりの推進、家計簿記帳などの取り組み事項が提案され、そのなかでも設立五十周年という大きな節目となる記念事業や厳しい時代に立ち向かう消費拡大運動の更なる強化を目指して、女性部全会一致で承認された。総会終了後は、設立五十周年を迎え、部員全員によるアンケート結果をもとに記念事業の内容が検討され、式典や研修など部員それぞれから貴重な意見を聞くことができた。

午後からは、五十周年を記念した基調講演が行われ、家の光協会大竹氏を講師に招き「ワクワク女性部で、いきいきライフ」と題した講演となり、大竹氏の巧みな話術やゲームで参加者を魅了、本題である女性部活動や組織の在り方などを楽しく学び、大好評となる講演会となった。



記念すべき第50回総会に臨む三役と議長



頼瀬組合長の挨拶。女性部に大きな期待を...



提出議案の説明を聞く出席者



開会を告げる西丸部長の挨拶



出席者による女性部綱領朗唱



講演中にゲームを交えて参加者を魅了!!



基調講演の講師を務めた大竹氏



総会終了後、穴戸委員長により50周年事業の検討がなされた



スムーズに議事を進める議長、末広香さん（大成）

記念事業と消費拡大運動に積極的な活動が期待される

～ 第50回 J A 根室地区女性部協議会通常総会 ～



管内女性部が勢揃い!!
新年度も積極的な活動が期待される

J A 根室地区女性部協議会では、第五十回を数える通常総会を三月二十四日、中標津町根室農業会館にて開いた。

総会は、水沼会長の挨拶により開会され、平成十七年度事業報告並びに収支決算、平成十八年度事業計画並びに収支決算（案）の設定、平成十八年度会費の賦課徴収方法（案）などが全会一致で承認された。

また、地区女性協では本年度設立五十周年という大きな節目を迎え、記念事業や消費拡大事業への積極的な活動が展開されることとなった。

役員改選では、J A 計根別女性部より水沼和子（大成）さんが会長、西丸アヤ子（上標津）さんが監事として、それぞれ再任が決定された。



地区女性協三役。新執行体制により新年度のスタート



議案書を真剣な眼差しで見つめる出席部員



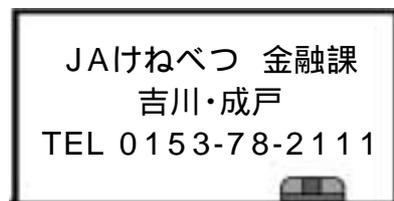
平成18年4月1日より商品金利が一部上がりました。

	1年未満	1年以上	2年以上	3年以上	5年以上
スーパー定期 300万円未満	0.02% (0.02%)	0.06% (0.03%)	0.08% (0.04%)	0.15% (0.07%)	0.23% (0.10%)
スーパー定期 300万円以上	0.02% (0.02%)	0.06% (0.03%)	0.08% (0.04%)	0.15% (0.07%)	0.25% (0.10%)
大口定期 1000万円以上	0.02% (0.02%)	0.06% (0.03%)	0.15% (0.04%)	0.25% (0.07%)	0.35% (0.10%)



	3年未満	3年以上
定期積金	0.06% (0.03%)	0.08% (0.05%)

詳しい商品内容、お問い合わせはこちらまで!!
どんな些細な事でもお気軽にご相談ください!!
心よりお待ち申し上げます。



JAけねべつ 金融課
吉川・成戸
TEL 0153-78-2111

高品質な生乳生産で安心と安全を

J A 計根別青年部乳質改善講習会



講習会を担当する上標津支部を代表して久保拓伸くんが開会挨拶



熱心に講義を受ける参加者

最後は、高橋係長から「ポジティブリスト制度も農薬や医薬品を適切に使用すれば食品に残留することはない」との力強い言葉で閉会され、生乳生産に関するさまざまな知識を高める有意義な講習会となった。

青年部上標津支部では、部員自らが乳質改善に対する意識を高め、高品質な生乳生産により、消費者へ安心と安全を提供することを目的として、三月十日農協和室にて乳質改善講習会を開いた。

講習会には部員三〇名が出席。講師として営農部生産課高橋課長を招き、生乳緊急抑制対策、生乳汚染事故、乳質改善、ポジティブリスト制度など幅広い内容で講義を受けた。

質疑に移ると出席者から「四月からの生乳生産はどうなるのですか」「ポジティブリストの記帳はどこまで必要なのですか」「この制度は全国的に取り組むのですか」など生産抑制やポジティブリスト制度に話題が集中。厳しい酪農情勢に直面した部員の本音を聞くこととなった。



講師：生産課 高橋課長

THE FRIEND CONNECTION

影山 健一(養老牛支部)
S49.3.8生 32歳

- Q 1 . あなたの趣味は？
A 1 . 野球、バレーボール
- Q 2 . あなたの特技は何ですか？
A 2 . パチスロの目押し(でも、なかなか勝てない)
- Q 3 . 好みの女性は？
A 3 . 菅山かおる 姫(全日本代表)
- Q 4 . 将来の目標は？
A 4 . 億万長者!!
- Q 5 . あなたの夢は何ですか？
A 5 . 農協野球部でWBC出場?観戦かな?
- Q 6 . 友達を紹介してください
A 6 . 田中洋希くんです。
- Q 7 . なぜ田中くんを選んだのですか？
A 7 . 農協青年部での大先輩だから...



シリーズ第25弾 逸品館 “モンキー”



今月の逸品館は、伝説の限定モデル“モンキー（ゴールドメッキ仕様）”の紹介です。

この逸品は、ある組合員さんのD型ハウスに息を潜め、大切に保管されておりました。

ホンダ・モンキーとは、レジャーバイクの先駆けとして昭和42年3月発売。以来、17年間ユニークなスタイルと手軽さから、幅広いユーザーに好評。

また、限定モデルのモンキーは、主要部分にゴールドメッキを施した高級感あふれる外観デザインに加え、出力を向上した空冷4サイクルOHC単気筒エンジンを搭載。さらに、クラッチは手動式、変速機構は4段リターン式を採用し、スポーツ感覚が楽しめるレジャーバイクとしてより充実したものとなった。

当時国内でも5,000台しか生産されなかったという逸品、販売と同時に即完売となるほどの人気であり、個性派レジャーバイクとしての頂点を極めました。

モンキー ゴールドメッキ仕様

年 式 / 昭和59年 9月 購入価格 / 130,900円
 エンジン / 空冷4ストOHC2バルブ 馬力 / 推定3.1PS
 排 気 量 / 49CC 車 重 / 58kg

組助や資産台帳を理解し、 税の仕組みを学んだ講習会

営農課では、酪農後継者である若年層を対象として、税務に関する知識の向上を図るべく、三月二十三日農協第二会議室にて税務講習会を開いた。

当日は、組合員や後継者ら十二名が出席。営農課川目係長の講師により講習会が進められ、組助取引内容や資産台帳の見方など、税務の初歩的な部分から説明を受けた。

その後、消費税額を計算するテストが用意され、参加者は慣れない手つきで電卓を扱い、自らの収支内容を用いて税額を算出した。

最後に、税務に関する知識も個人差があるようで、若年層を中心に酪農経営の基礎となる組助や税の仕組みなど、まだまだ学ばべきものも多く、これを機会に講習会など継続して開催されることを期待します。



慣れない電卓と数字に悪戦苦闘!!



参加者それぞれに悩みも多く、時には個別指導も...



組助取引内容の理解に戸惑う出席者

育成や乾乳牛の大切さを学んだ研修会

東部地区同志会農場視察

須崎 智裕（東西竹）

二月二十三日、東部地区同志会が主催する農場視察研修会に参加しました。

視察先は標津町の木村牧場。育成や乾乳期の飼養管理技術を学ぶという目的で、同志会員や家族を含む十五名での視察となりました。

視察では、昨年十二月に建設された育成、乾乳舎の説明を受け、実際にその牛舎を見学することとなった。牛舎施設は、分娩房四箇所、育成も月齢に分けて五箇所仕切られ、最先端の技術が施されていることもあり、総額で五、〇〇〇万円の投資となったようです。

その施設内には、自動哺乳器（哺乳期間七〇日）が設置され、隣のバーンには哺育牛の増頭に合わせて自動哺乳器を併設できるスペースも確保されていました。

さらに、哺育スペースには保温効果を持つカーテンやストールに低反発製の枕が設置されるなど、乳牛に対する快適な飼養環境が整備された素晴らしい施設でした。

最後に、広くて綺麗な牛舎で牛も伸び伸びとしており、育成や乾乳期における飼養管理の大切さを学ぶ貴重な研修会となりました。



四箇所が設けられた分娩房



自動哺乳器とカーテンが設置された哺育スペース



月齢や分娩に合わせた快適な牛舎



視察に参加した東部地区同志会々員と家族

それぞれの役割と責任で 明るい家族経営を

宍戸さんご家族が家族協定締結

家族経営中心の酪農が、魅力ある職業であるために、安定した酪農経営と継続を目指して、三月二十七日また新たな組合員さんが家族協定調印式を迎えた。

家族協定とは、家族一人一人の役割と責任を明確にし、それぞれの意欲と能力を十分に発揮しようとするものであり、就業条件、農作業や家事などの役割分担を書面で交わし、円満で民主的な家族経営を目指すというものです。

このたびの家族協定は、経営移譲をした宍戸喜美さん、トヨ子さん（大成）。後継者である一哉さん、留美さんのご家族です。

調印式は、纒織組合長と地区担当農業委員である加藤和広さん



協定内容を確認する宍戸一哉さん、留美さん



纒織組合長から記念品贈呈



家族協定を迎えた宍戸さんご家族

（大成）立会いのもと、家族の共通目標が定められ、お互いの協定内容を確認、それぞれが協定書へ捺印されました。

蜂蜜入りアイスで消費拡大を



Aコープ店内で試食する大沢智子さん（本別）

中標津農業高等学校では、牛乳・乳製品の消費拡大事業の一環として、本校で商品開発した蜂蜜入りアイスクリームを三月十五日Aコープ店内で販売した。

当日は、Aコープを訪れる買物客にターゲットを絞り、生徒自らで作った新商品のアイスを消費者にPRした。このアイスは店内でも同時に販売され、お昼時には用意されたアイスも全て完売、先生や生徒も好調な売れ行きに大満足の様子でした。さらに、生徒が農協事務所内に試食用のアイスを持参し、組合員や職員にもアイスの出来栄を披露するなど、試食した職員から「とても美味しい」との評価を受けました。今後も地元地域とのタイアップにより牛乳・乳製品の消費が少しでも伸びることを願っております。

酪農研修生寄稿

からの



上野 宜重

シリーズ



上野くんの自信作「五郎'S会」と書かれた巨大プリン

完成記念パーティーでは、製作を担当した酪農研修生や協力して頂いた組合員さん、職員ら約二十名の参加を頂き、牛乳鍋や焼肉を囲んで、これまでの労を労いました。今後も「五郎'S会」を通じて、地域活動への積極的な参加や自らも催し物を検討するなど、これを機会に様々な形で計根別地域との交流を深めたいと考えておりますので、皆様方のご理解、ご協力を宜しくお願い致します。

私が研修生として計根別に来たのは平成十七年十二月。研修先は、計根別地区の伊藤利博牧場さんです。ここでは、主に搾乳作業を担当しています。また、プライベートでは研修仲間や農協、組合員さんとも親しくお付き合いをさせて頂き、本当に感謝しております。先日二月十九日に農協グラウンドで、「かまくら」の完成記念パーティーが開催されました。このかまくらの企画・製作は、パーティー主催者の「五郎'S会」（会長 太田 誠さん）でした。メンバーである私たち酪農研修生が「もっと地域に根差した活動をしたい」「日頃の恩返しをしたい」という思いからかまくらづくりをチャレンジしました。かまくらづくりも連日の吹雪や寒風の中で行われ、スコップやスノーダンプを使い大変な作業が続きましたが、「初志貫徹」を合言葉にメンバーが一致団結して見事に完成、当日のお披露目を迎えました。



人海戦術で臨んだ「かまくら」づくり



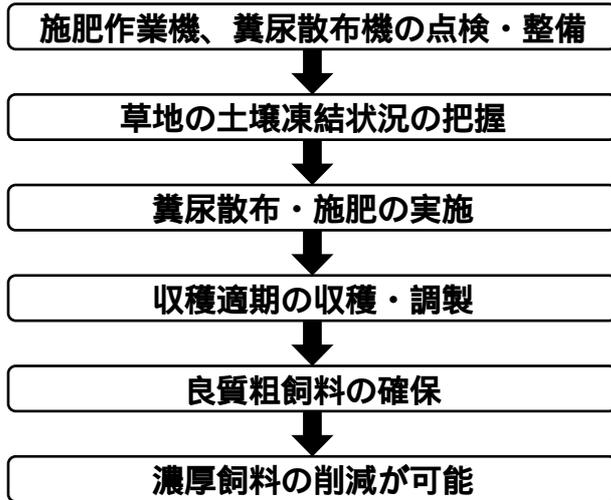
「かまくら」の完成を祝してカンパニー!!



草地管理から行う 生産コスト低減対策

4月より本格的に生産調整が実施され、所得を確保するため各部門においてコスト削減が求められます。コスト削減は何も新しいことを始めなければ、ということはありません。いままでの基本技術をきちんと行うことでコスト削減を図ることが可能です。

牧草の生育状況に合わせた施肥作業を行い、かつ収穫までの期間を適切に確保し、最も栄養価の高い時期に収穫し、良質な粗飼料を確保する。当たり前のこともかもしれませんが、このことが最もコスト削減につながる対策ではないでしょうか。



牧草の萌芽に合わせた施肥の実施

早期の散布により、収穫までの期間を確保。硝酸態N等の影響をできる限り少なく。

繁殖成績の向上、疾病の減少!!

乳量 1 kgあたりの生産コストの削減!!

[1] 今年の積雪と土壤凍結状況

今年は昨年と同様、土壤凍結は10cm前後で、平年比で約1/3の深さです。積雪も平年より少ないため、融雪日も早まると考えられます。

表1 近年の融雪期と萌芽期（北根室普及センター）

	H17	H16	H15	H17
融雪期	4 / 18	4 / 19	4 / 9	4 / 10
萌芽期	5 / 4	5 / 7	4 / 24	4 / 27

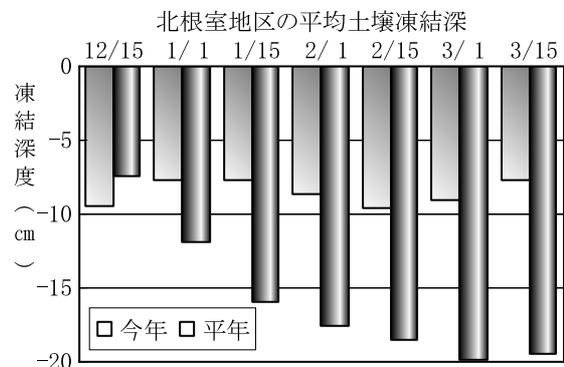


図1 今年の土壤凍結状況（北根室普及センター）

[2] 施肥のタイミング

早春の施肥時期は萌芽期の施肥が最も収量が多くなります。遅れば遅れるほど、収量が減少する傾向が見られます（図2）。

最近の萌芽期は表1のとおりです。雪解け後、トラクターが草地に入れるようになれば、速やかに肥料散布ができるよう、準備しましょう。

お知らせ

機構改革のため、4月1日より「北根室地区農業改良普及センター」の名称が

「根室農業改良普及センター北根室支所」

に変わりました。

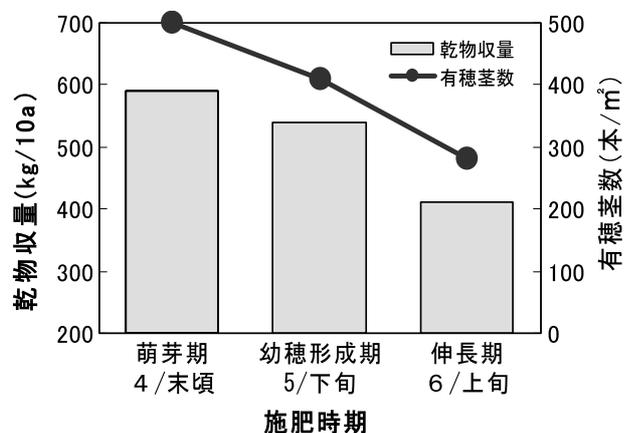


図2 早春の施肥時期が1番草収量、有穂茎数に及ぼす影響（1985 松中・小関）

重大ニュース

融資保証金詐欺被害発生！

今年に入ってから、融資保証金詐欺（融資する意思もないのに、融資前の信用付け等という理由をつけて保証金名目で現金を口座に振り込ませて騙し取る手口）が数件発生しました。

貸金業者を名乗る者から電話やハガキで融資の勧誘があり、「融資するためには信用をつけてもらう必要があるので現金を振り込め」とか「あなたの情報を調査したところ融資できない状態だが、データを抹消すれば融資できるので抹消費用を振り込め」等と理由をつけて数回に亘って現金を振り込ませ、そのうちに電話が通じなくなり、融資を受けることもできなければ振り込んだ現金も戻ってこないという状況です。

融資を受ける際や現金を振り込む際は1人で判断することなく、家族、警察、近所の人等に相談することが被害防止に繋がります。

中標津

不審者出没

- 3月2日午後6時ころ、中標津町南町の店舗内で、女兒が年齢40歳～50歳くらいの男に「おじさんと遊ばない？」等と声をかけられた。

空き巣ねらい

- 2月10日から24日にかけて、中標津町西7北3の一般住宅で現金が盗まれた。
- 2月24日から26日にかけて、中標津町西4北5の一般住宅で現金が盗まれた。
- 2月25日から27日にかけて、中標津町西9北3の一般住宅で食品が盗まれた。
- 2月25日から27日にかけて、中標津町東9北2の一般住宅で現金等が盗まれた。

事務所荒らし

- 3月17日から20日にかけて、中標津町東5南3の会社事務所で現金が盗まれた。

車上ねらい

- 2月26日から27日にかけて、中標津町南町の駐車場で車内から現金等が盗まれた。
- 2月27日、中標津町東4南1の駐車場で車内からバッグ等が盗まれた。

部品ねらい

- 3月13日から14日にかけて、中標津町西竹で車両に取り付けていたバッテリーが盗まれた。

別海

車上ねらい

- 2月26日から27日にかけて、別海町本別で車内から現金等が盗まれた。

自動販売機荒らし

- 3月11日から12日にかけて、別海緑町で自動販売機が荒らされ現金が盗まれた。

羅臼

船舶機材を狙った窃盗

- 3月7日から10日にかけて、羅臼漁港で船舶に設置していた巻揚げ機が盗まれた。
- 1月下旬から3月23日にかけて、麻布漁港で船舶に設置していた網揚げ機が盗まれた。

標津

窃盗事件などの発生はありませんでした。

ホームページ

中標津地区防犯協会連合会では、ホームページで事件事故等のお知らせをしています。

<http://www15.ocn.ne.jp/~bouhan/>

お世話になりました

退職にあたって

購買事業部 部長 朝長 能成



この度三月三十一日付を以って退職させて頂く事になりました。

昭和四十二年、人工授精師として奉職以来三十九年の長きにわたり農協のお世話になってきた訳ですが、是も一重に組合員並びに役員関係各位皆様方のご理解とご指導の賜物と深く感謝とお礼を申し上げます。

計根別農協の役割と責務が地域にとつて重視されるなかで、夫々の部署で様々な順風あり風雪を体験し、酪農の素晴らしさや楽しさを知り、その反面で厳しさも身をもって体験致しました。今となれば全てが懐かしい思い出となり、生涯の宝物として大切に温存して参ります。

退職後は、その貴重な教訓と経験を活かし、今後の人生を日々悠々と前進して参ります。

最後になりますが、酪農情勢厳しい折では有りませんが、皆様方の今後益々のご繁栄とご健勝を祈念申し上げます。退職の挨拶とさせて頂きます。

三十九年間誠に有難う御座いました。

退職にあたって

購買事業部 燃料課 小島由美子



農協に勤めて長かったようアツという間の十一年間でした。

海の町で育った私にとつて、計根別での生活は全てが初めての経験ばかりでした。牛も間近で見るとは、あんなに大きいものとは思っていませんでした。

また、金融課、販売課、燃料課と三つの部署での仕事は、同じ職場なのに内容の違いに戸惑うばかりでした。でも、私にとつては良い刺激となり、自分なりに成長出来たと思えます。

販売課では、牛に接する機会があり、生き物を育てる難しさと体長は大きいけど凄く可愛い仕草をする事を知りました。牛に蹴られて怪我もしましたが、嫌いになる事はありませんでした。

燃料課では、お客様と接する難しさを実感しました。そして、

販売課の時に世話になつた方がスタンドに来てくれるようになり、人の繋がりの大切さを知りました。

職員になったと同時に野球部のマネージャーとなり、練習の積み重ねの大変さ、試合で勝ったときの喜び、負けた時の悔しさなど色々な感情を味わう事が出来ました。

農協職員だったからこそ、貴重な経験が出来たと思っております。

これからは、自分の夢を叶える為に再出発しますが、今まで学んだ事を活かして、沢山の人の役に立てるよう頑張りたいと思います。

最後になりますが、上司、先輩、後輩、組合員などの皆様方には、今まで私を支えて頂き、本当にありがとうございました。

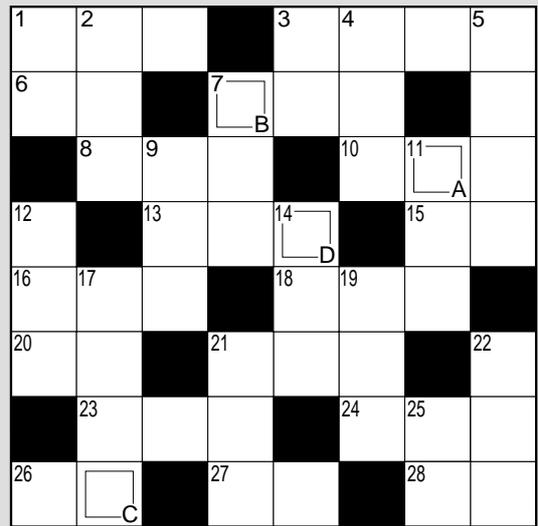
【タテのカギ】

- 1 日本はこれに囲まれている
- 2 ボルトとセットで使用する金具
- 3 青と紫を混ぜた色
- 4 敵にとらえられる
- 5 ふたつに折って枕の代わりに
- 7 洋風の手ぬぐい
- 9 女性の髪飾り
- 11 鳥が一人前になる
- 12 水に強い木材
- 14 遠くまで行くこと
- 17 休日の娯楽
- 19 セラー、レール、ラン
- 21 冷やし中華やトコロテンに入れる香辛料
- 22 プライスカード
- 25 ジャマイカ名産の蒸留酒

【ヨコのカギ】

- 1 土用といえばこの魚を連想
- 3 古くからいわれている教訓
- 6 水、蜂、鮠
- 7 複利
- 8 3人で一組
- 10 原価
- 13 電圧の単位
- 15 無 借用
- 16 店の入り口にさがっていることも
- 18 すごく大きい蛇
- 20 服などの材料
- 21 家に昔から伝わっているもの
- 23 柔道の別名
- 24 円、棒、折れ線などの種類がある
- 26 酸素の元素記号
- 27 私欲
- 28 用をなさないこと

クロスワードパズル



● 正解者 5 名の方にすてきなプレゼントをさしあげます。なお、正解者多数の場合は抽選とさせていただきます。

《応募方法》左下の点線の部分を事務所内（販売機横）の投書箱へ。または、企画課まで F A X（78-2556）お願いします。

《締め切り》平成18年 4 月20日まで
 当選者の発表は「けねべつ」5月号誌上

クロスワードパズル3月号の答え

ケイチツ

抽選の結果下記の方が当選いたしました。
 すてきなプレゼントを差し上げます。
 企画振興係でお受け取り下さい。

- 武田 州司さん 斉藤 長市さん
- 長谷川 恋さん 株田 敏子さん
- 根岸 榮子さん

きりとり線
 クロスワード
 パズル

住 所 _____

氏 名 _____

T E L _____

答 え
 A B C D

きりとり線



あ
と
が
き

三月は、時より降り続く雪や強風により、春を待ちわびる計根別にも、まだまだ長い冬を感じる今日この頃です。

さて、先月はWBC（ワールド・ベースボール・クラシック）が開催され、奇跡的な優勝を遂げた王JAPANに世界的な注目が集まり、雌阿寒岳も八年ぶりという小規模な噴火活動が記録されるなど、何か起きそつな予感がしました。

すると四月一日付けでJ A内にも十年ぶりとなる機構改革がなされ、新たな部署として営農部が復活。このことにより事務所内でも大幅な人事異動となりました。

四月からは、業務体制も一部変更となりますが、組合員皆様の期待に応える組織として、新たな気持ちで事業に取り組んで参りますので、皆様のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。



不安を抱えたままで新年度を迎えてしまいましたが、今時の生乳出荷規制では、生産者の皆様に大変な苦勞が強いられ、ご協力を頂いている所です。このことにより何とか当農協の目標数量を守る事が出来たことに安堵しております。

四月以降の需給状況も思わしくなく、心痛む日々が続きます。そうですが、はっきりしているのは、今年度において前年対比三%位の減産が確定していることです。これまでの様な増産方向での計画生産とは状況が全く違ってしまいます。

農協としても、この緊急事態を踏まえ、機構改革と人事刷新を新年度より進めます。大きな柱となるのは、独立さ

せた営農部。減産下や手取り乳価も落ち込む酪農環境をしつかりサポートできる布陣を作ったつもりです。酪対の仕事も営農部に取り込み、計画に沿った確実な生乳生産と手取り乳価に耐え得る営農指導に力を注ぎたいと思っております。

出荷規制、生乳の廃棄と将来が悲觀的になる様なことが続きますが、総体を見ますとまだ九十七%の牛乳が確実に販売できるのですから、自らの経営を見直し、新たな視点を探り、不屈の気持ちを持ってすれば道は開けます。

たかが三%の減産、されど三%。我々の牛乳に自信と誇りを持ってすれば、この難局を克服出来ます。

平成十八年四月一日 瀧瀬 成喜



“パッチワーク”

本年度、女性部では設立50周年を迎え、記念事業の一環として部員全員で“パッチワーク”づくりに取り組み3月16日見事に完成しました。これは、各支部からそれぞれのパッチワークが持ち寄られ、実行委員や三役の手で一つの大きなパッチワークへととなりました。このパッチワークも農協事務所内に飾られる予定です。組合員の皆様も農協へ来所の際は是非一度ご覧になってください。



編集 / 計根別農業協同組合 営農部 営農課 組織広報係
発行日 / 平成18年4月1日